

各 位

2026 年 7 月 24 日
株式会社リットーミュージック

LUNA SEA のベーシストが激動の半生を綴った『MY WAY -J 自伝-』。
出版 1 周年記念のサイン会&プレミアムトークショーが開催！



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、2025 年 8 月に発売した書籍『MY WAY -J 自伝-』の出版 1 周年を記念したサイン会&プレミアムトークショーを 2026 年 9 月 13 日に東京・三省堂書店神田神保町本店で開催します。

『MY WAY -J 自伝-』は、LUNA SEA のベーシストであり、ソロ・アーティストとしても活躍する J さんによる初の本格自伝。J さん自身が「読み物として楽しんでもらえたら」と語るように、単なるサクセス・ストーリーではなく、“ロック・アーティスト”を離れたひとりの男としての生きざまをも描き出した内容で、2025 年 8 月の刊行と同時に大反響を巻き起こし、度重なる重版により発売早々にベストセラーとなった話題の作品です。書籍発売後には、ファンの皆さんの熱い要望に応じて全国でサイン会イベントを展開し、いずれの会場も大盛況となりました。

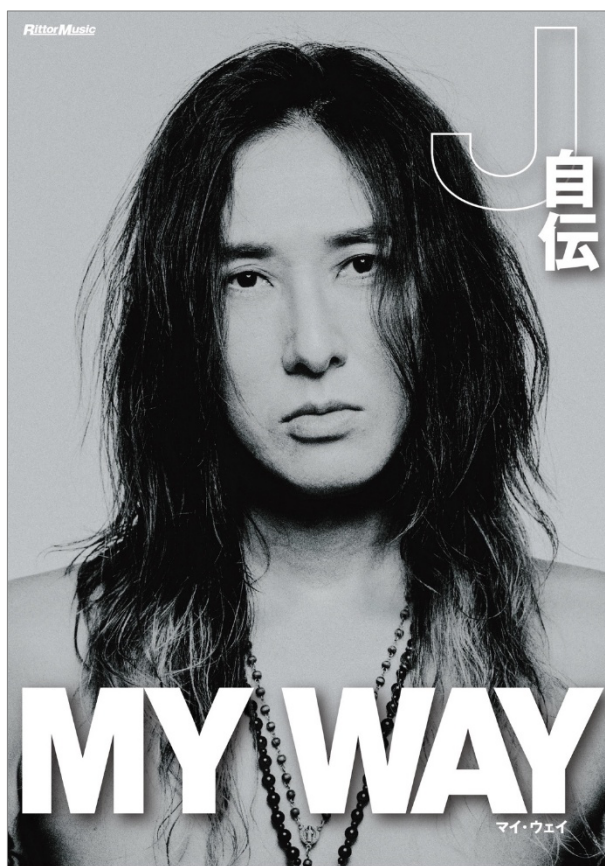
出版 1 周年を記念した今回のイベントでは、サイン会に加えて、サイン会当選者のなかからさらに抽選で参加者を募るスペシャル・トークショーも実施。トークショーは、現地会場での参加定員 30 名（リアルタイム配信によるオンライン参加定員は 500 名）という超プレミアムなイベントとなっています。申し込み詳細については、下記のイベント特設ページをご確認ください。

◎『MY WAY -J 自伝-』出版 1 周年記念イベント

サイン会&プレミアムトークショー

●2026 年 9 月 13 日（日）東京・三省堂書店神田神保町本店

詳細 <https://jinbocho.books-sanseido.co.jp/events/10432>



東京ドームのステージに立つて感じたリアル

今日は2025年3月19日。ふと気がつけば、あの日からもう1ヶ月近く経とうとしている。あの日というのはもちろん「LUNATIC TOKYO」―出版限定GIG―が行われた2月23日のことだ。
東京ドームという場所には、50年間に及ぶLUNA SEAのこれまでの歴史のさまざまな場面が焼きつけられてきた。東京ドーム自体がひとつの定点のような目撃者だったと言い換えてもいいのかもしれない。そこには、駆け出しの頃の自分たちにとっては、凄然と思いを描いていた夢のような場所でもあったが、この長い年月の間には喜びばかりではなく苦難もたくさん経てきたし、いろいろなものを乗り越えてきたという自負もある。

さまざまなことを経験しながら迫り着いた何度目かの東京ドームのステージに立ち、俺は「こんな場所があるんだな」と感じていた。走馬灯のように過去の記憶が巡ってくるようなところもあったと同時に、自分自身のなかで過去のいろいろなことに後悔を合わせていかなければ、目の前の景色がリアルなものとして成立しないような感覚というのもあった。SUGIHOの実家のひとつの部屋にみんなが集まり、機材でうきうき詰めの空間でひとつひとつのフレーズを作り、それを曲にしている。「じゃあ、まっ明日」なんて言い合っているあの頃から現在までの過程を振り返ってみると、いったいどんな風道を進んだらこの地点に辿り着くものなのか、という不思議さを感じさせられた。そしてさまざまな記憶がつかづっていくなかで実感できるのは、夢のような場所ではあってもそれが現実のものだったということだった。架空の話ではなく、きわめてリアルな物語なのだ。おもしろいものだが、と自分でも思わずにいられない。

東京ドームのステージに立つたのはもちろん今回が初めてではない。ただ、そこ自体はずっと同じ場所であるはずなのに、ステージの上から眺める景色は毎回違っていったように思うし、今度も実際そうだった。このタイミングで東京ドーム公演をやるという話をしていた段階でもそうだったけれど、やはり自分自身の「今」というものに対しての想いは、過去にこの場所で遊んでいたとはかような局面とも違っていた。最初に「LUNATIC TOKYO」が開催された1996年当時と、2000年冬の「終幕」の際と、さらには2007年の「GOOD BYESS YOU - One Night Drive」や2010年の「REBORN」なども異なっていた。それは、断崖絶壁大急進のような感情に振り回されるのではなく、ポジティブなこともネガティブなことも経験し尽くしてきたうえで、自分たちのバンドとしての年齢のうなががついて、そっぴり着ける場所でもあったように思う。ある意味、いろいろなものを離れてきたことで到達できた場所でもあったと思う。

夢のような出来事がリアルであるためには、これまでに生きてきた過去の出来事ひとつひとつを肯定できなくてはならない。そうあれこそ、その場所に立てている人間としての強さというのを実感することができると。振り返ってみると本当にいろいろなことがあったけれど、そひとつひとつがここに辿り着くためのきっかけだったんじゃないかと思えるようなところがあった。

今回の東京ドーム公演自体についても、それが素晴らしいものにはなはずだ。確信ばかりではなく、その反対側には当然のように不確かな想いが自分のなかにはあった。あの場所を埋め尽くすような熱気を果たして今の自分たちに呼び起こすことができるのか、そして、熱そのものようなオーディエンスが今の俺たちをどう受け止めてくれるのか、それ以前に、果たしてあの広い会場が埋まるのかというのもあった。そ

■書誌情報

書名：『MY WAY -J 自伝-』

著者：J

仕様：A5 判／304 ページ

定価：2,970 円（本体 2,700 円＋税 10%）

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.ritto-music.co.jp/product/detail/3125343006/>

CONTENTS

序章 2025 年、約束の地からの眺め the view from the promised land

第一章 スリルを求める少年の成長記録 a growing-up story of a thrill-seeking boy

第二章 名もなき街に、役者は揃った fateful encounters in a nameless town

第三章 天国の先に待ち受けていた地獄 the hell that awaited beyond heaven

第四章 無限の混沌が幕を閉じるとき when the never-ending chaos comes to an end

第五章 知られざる自分を探し求めて in search of the unknown self

第六章 終わりのない旅と運命の十字路 an endless journey and a crossroads of fate

第七章 想定外の未来と新たな現実 the unexpected future and a new reality

第八章 明日に向かうための、究極の約束 the ultimate promise for tomorrow

PROFILE

J（ジェイ）／小野瀬 潤●1992 年に LUNA SEA のベーシストとしてメジャー・デビュー。1997 年には LUNA SEA の一時活動休止を機にソロ名義での活動をスタートし、1st アルバム『PYROMANIA』を発表する。2000 年の LUNA SEA 終幕を経て 2001 年にソロ活動を再開すると、海外から多数のアーティストを招き開催したライブ・イベント“FIRE WIRE”、史上初アリーナをオールスタンディングにして開催した日本武道館公演、数多くのゲスト・バンドを一同に迎えての 5 日間連続ライブ“SHIBUYA-AX 5DAYS”など、独自のスタイルでライブ活動を展開。2019 年 5 月には LUNA SEA 結成 30 周年を迎えた節目に、世界的楽器メーカーであるフェンダーとのエンドースメント契約を発表。2025 年 1 月発行のベース・マガジン誌で企画された『プロ・ベーシ

ストが選んだ偉大なるベーシスト 100 人』では、世界中の錚々たるベーシストが名を連ねるなか、第 10 位を獲得。また、一般アンケート投票（#最も偉大なベーシスト 2025）においては、堂々の 1 位に輝いている。2025 年は LUNA SEA 結成 35 周年ツアーのグランドファイナルとして、東京ドーム公演を開催。LUNA SEA としても確固たるその存在を世に示した。現在も、日本のロック・ベーシストとして唯一無二のスタイルを提示し続け、LUNA SEA、ソロの両輪で活躍中。

©<https://www.j-wumf.com/>

【株式会社リットーミュージック】<https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド＆レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー＆クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア＆コンテンツ事業を展開しています。多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』や T シャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】<https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT・デザイン」「音楽」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp